

かみのまちいせき

上ノ町遺跡

(茅ヶ崎市No.148 遺跡)

調査期間 20080901～20081031

所在地 茅ヶ崎市西久保地先

時代
古代
中・近世



作成日:20081202

概要

今回の調査は国土交通省による一般国道468号(さがみ縦貫道路)建設事業に伴って実施された発掘調査で、調査地点は新湘南バイパスとの接続地点にあたります。上ノ町遺跡の過去の大きな調査としては、1981～1983年の新湘南国道埋蔵文化財調査会による調査、1991～1997年の茅ヶ崎市教育委員会による調査、1997～2001年のかながわ考古学財団が行った調査があげられます。今回の調査は側道の移転や橋脚建設等に伴う事前調査で、2004年度から実施しています。今年度はすでに調査の終わった地区の空白部を埋めるべく、2箇所(29区・30区)で実施されました。対象面積は155㎡です。

上ノ町遺跡は茅ヶ崎市の北部、寒川町に近い西久保地区に所在し、JR東海道線茅ヶ崎駅の北西約2.5km、相模川より東へ約2kmの位置にあたり、小出川左岸に広がる標高4～6mの沖積微高地に立地しています。

調査の結果、近世の溝状遺構と、中世の溝状遺構、井戸、土坑、ピットが多数検出されました。中でも溝状遺構は、周りの既調査区で報告されている遺構につながるよう

に検出されました。これら溝状遺構からは ^{とこなめ}常滑 ^{つぼ}産の壺 ^{かめ}や甕 ^の



▲29区 全景



▲30区 全景

いたび
破片、かわらけ等が出土し、2号井戸からは板碑の破片
が出土しています。

また、今回の調査地区からは、奈良・平安時代以前の遺物

はじき つき
として土師器の甕や坏の破片が少量ながら見つかりまし
た。しかし、この時代の遺構は検出されませんでした。



▲遺物出土状況